



## 2学期がスタートしました

今年度は久しぶりに9月1日にスタートしました。朝夕は少し涼しさを感じられるようになったものの、残暑は相変わらず厳しい中のスタートです。今年の夏はことさら暑く、子供たちも夏の疲れをひきずっているような様子です。2学期は、年度の中で最も登校日が多く、最も季節の移ろいが激しい時期です。そして、修学旅行、壬生ホールで行われる天竜地区の音楽発表会、ぎんなん祭り、上阿多古小ランニング、各学年の校外学習などさまざまな行事が計画されていて、学習が充実する時期でもあります。保護者や地域の皆様には、子供たちのサポートをお願いすることが多くなりますが、充実した学習が行えるよう、御協力をお願いいたします。

感染症の流行は今も続いていて、浜松市内には2学期早々学級閉鎖になった学校もあるようです。引き続き基本的な感染症対策を行いながら学習活動を行っていきたいと思います。今学期もよろしく願いいたします。

## 三小連合教育



9月6日に、三小連合教育が行われ、熊小、下阿多古小、上阿多古小の3小が集まって、2時間の授業を行いました。学年ごとに教室に集まり、国語や算数などの授業を1時間と交流を深めるレクリエーション活動を1時間行いました。

他校の子供たちと一緒に学習をするのは、1学期の四小連合教育でも行いましたが、三小連合はそれよりも規模が小さくなるため、より深く交流できるように思います。話し合い活動を通して意見を交流したり

深めたりする学習を行えるこの連合教育は、極小規模な学校となった今の上阿多古小学校にとって、とても価値ある大切な行事であると捉えています。始めは緊張感のある教室も、時間と共にほぐれ、仲良く学習する様子が見られました。他校の先生に授業をしていただくということもよい経験になりました。

レクリエーション活動は、高学年組(4～6年生)も低学年組(1～3年生)も大変楽しそうでした。紙コップを使って並べたり積んだりする単純な作業ですが、自分の身長よりも高く積む子、幅広く積む子、城のような形にする子などさまざまな表れが見られ、どの子も満足そうな表情を見せていました。他校の友達と協力して作業する姿は、自然な交流が見られてとてもよい活動になったと感じました。

学年が上がるほど交流が自然に行われているのを見ると、この活動を続けていく意味を感じます。いわゆる中1ギャップを軽減する助けになっているのではないかと思います。

